

4

語句・ことばのきまり

学習日 /

要点チエック

(1) 次のそれぞれのことわざの意味としてふさわしいものをあとから選び、記号で答えなさい。

□① 猿さるも木から落ちる

□② 月とすっぽん

□③ 豚ぶたにしんじゅ

ア 価値のわからない者に貴重きちような物を与えても何の役にも立たない。

イ どんな名人でも時には失敗する。

ウ うわべは似ているが実は非常なちがいがある。

(2) 次のそれぞれの慣用句の□に入る最もふさわしい、体の一部を表すことばをあとから選び、記号で答えなさい。

□① □が□が高い □② □が□がいたい □③ □を□をやく

ア 手 イ 耳 ウ 目

(3) ことばのきまり

□① 次の文の(A)主語、(B)述語を一つずつ選び、記号で答えなさい。

〈ア〉先月、引っこして、ウウきた。エエ大助くんは、オオ私より、カカ二つ年上だ。〈

(A)	
(B)	

□② 次の文の……線部が修飾している部分を選び、記号で答えなさい。

〈ア〉ぼくは、じつくりと、イイ虫の、ウウ動きを、エエ観察した。〈

確認問題

1 次のそれぞれの記事の□に入る最もふさわしいことわざをあとから選び、記号で答えなさい。

□(1) おとうさんは、はしの使い方が下手です。ぼくもあまりうまくはありません。□  
□(2) 飛び箱飛びのうまい太郎くんが、めずらしく飛び箱の上にしりもちをついてしまった。□  
□(3) ぜんぜん本を読まない弟に、父は辞書を買ってあげた。おそらく□

□(4) 予習をしていけば、授業がよくわかると、何べん言ってきかせても、カズオったら、□で、まったく知らん顔して、言うこときかないのよ。

□(5) このクラスの生徒の成績は、どうも□で、変わりばえがなくて、いまひとつぱっとしない。

ア 馬の耳ねんぶつに念仏 イ ねこに小判こばん ウ 月とすっぽん  
エ どんぐりの背せくらべ オ 能あるたかはつめをかくす  
カ かえるの子はかえる キ かつばの川流れ

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

2 次のそれぞれのことわざの意味として最もふさわしいものをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

□(1) 泣きつらにはち □(2) 朱しゅに交まじわれば赤くなる

- (3) ころばぬ先の杖
- (4) 良薬は口に苦し
- (5) とらぬたぬきの皮算用
- (6) とびがたかを生む

- ア 平凡な親がすぐれた子を生む。
- イ 人は、つき合う仲間にえいきょうを受けるものである。
- ウ 失敗しないように、前から十分に準備しておく。
- エ 不確実な事に期待をかけて将来の計画をたてる。
- オ 不幸の上に不幸が重なる。
- カ 自分に役立つ他人の忠告は、なかなか素直に聞きにくい。

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)

**3** 次のそれぞれの文の  に入る最もふさわしい慣用句をあとから選び、記号で答えなさい。

- (1) 石田くんはけんかは弱いのに、にげるスピードの速さときたら、だれも  が  ほどだ。
- (2) お母さんは、ぼくが音をたててスープを飲むと、いつも  。
- (3) 田中くんは、  から、人に知られたくないことは、あまりしゃべらないほうがいいよ。
- (4) せっかく山田くんが親切で言ってくれているのに、  なんてよくないよ。

- ア 眉をひそめる
- イ 舌をまく
- ウ 鼻が高い
- エ 鼻をあしらう
- オ 顔が広い
- カ 口が軽い

(1)
(2)
(3)
(4)

**4** 次のそれぞれの文の  にあてはまる、体の一部を表すことばを、漢字一字で、書いて答えなさい。

- (1) 買い物は予定どおりの値段だったが、駅からタクシーを使ったので、  が出てしまった。
- (2) 体の弱いぼくは、みんなが息を切らしてかけまわって遊ぶのを、  をくわえて見ているだけだ。
- (3) お父さんは、働き口を世話してやった知り合いが、その会社をすぐやめてしまったので、自分の  にどろをぬられたと、なげいていた。
- (4) 三郎くんが都大会に出場することになって、三郎くんのお母さんも、  が高いと喜んでいた。

(1)
(2)
(3)
(4)

**5** 次のそれぞれの文の①主語、②述語を一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) ア 冷たい イ 秋風が ウ ヒューヒューと エ ぼくの オ ぼおに カ ぶきつけました。
- (2) ア 子ねこを イ つれた ウ のらねこが エ ぼくの オ 家に カ 住みついた。
- (3) ア 先生は イ 私たちに ウ 大きな エ 期待を オ かけた。
- (4) ア 本当は イ ぼくも ウ あいっと エ 親しく オ なりたかったんだ。

(3)	(1)
①	①
(2)	(2)
(4)	(2)
①	①
(2)	(2)

練成問題

1 次のそれぞれのことわざと最も関係の深いことばを、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> (1) 弱り目にたたり目    | <input type="checkbox"/> (2) うりのつるになすびはならぬ |
| <input type="checkbox"/> (3) 時は金なり       | <input type="checkbox"/> (4) 能あるたかはつめをかくす  |
| <input type="checkbox"/> (5) 火のない所に煙は立たぬ | <input type="checkbox"/> (6) 急がば回れ         |
- ア 貴重  イ不運  ウ 平凡
- エ 実力者  オ 確実  カ 事実

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)

2 次のそれぞれのことわざと似た意味をもつものを、それぞれあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> (1) かえるの子はかえる  | <input type="checkbox"/> (2) ぬかにくぎ      |
| <input type="checkbox"/> (3) 泣きつらにはち    | <input type="checkbox"/> (4) ねこに小判      |
| <input type="checkbox"/> (5) ちようちんにつりがね | <input type="checkbox"/> (6) せいては事を仕損じる |
| <input type="checkbox"/> (7) さるも木から落ちる  |   |
- ア 豚にしんじゆ  イ 月とすっぽん  ウ 急がば回れ
- エ かつばの川流れ  オ 弱り目にたたり目
- カ のれんにうでおし  キ うりのつるになすびはならぬ

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)

3 次のそれぞれの  に入る漢数字を書いて、ことわざを完成しなさい。

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> (1) <input type="checkbox"/> 聞は一見にしかず    | <input type="checkbox"/> (2) <input type="checkbox"/> 里の道も一歩から      |
| <input type="checkbox"/> (3) 三つ子のたましい <input type="checkbox"/> まで | <input type="checkbox"/> (4) 一寸の虫にも <input type="checkbox"/> 分のたましい |
| <input type="checkbox"/> (5) <input type="checkbox"/> ころび八おき      | <input type="checkbox"/> (6) <input type="checkbox"/> 兎を追うものは一兎をも得ず |

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)

4 次のそれぞれの  に入ることばをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- |   |
|---|
| <input type="checkbox"/> (1) 自分のことは <input type="checkbox"/> にかけて、他人の欠点はかり言うのはよくない。 |
| <input type="checkbox"/> (2) 過去のことは <input type="checkbox"/> に流して、仲よくしようではないか。      |
| <input type="checkbox"/> (3) 彼の失敗のせいで、ぼくらの計画は水の <input type="checkbox"/> となった。      |
| <input type="checkbox"/> (4) あまりあちこち歩きまわったために、足が <input type="checkbox"/> になってしまった。 |
| <input type="checkbox"/> (5) ひまだからといっても、喫茶店で <input type="checkbox"/> を売ってはいけけない。   |

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

5 次のそれぞれの故事成語の意味として最もふさわしいものを、それぞれあとから選び、記号で答えなさい。

- |                                    |                                   |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> (1) 五十歩百歩 | <input type="checkbox"/> (2) 他山の石 |
| <input type="checkbox"/> (4) 矛盾    | <input type="checkbox"/> (5) 漁夫の利 |
|                                    | <input type="checkbox"/> (3) 蛇足   |
- ア 人の欠点や失敗を参考にして、自分に役立てること。

イ 前後がくいちがって、つじつまが合わないこと。  
 ウ よけいなことをつけたすこと。  
 エ 第三者が利益を横どりすること。  
 オ 似たり寄ったりで、あまり差がないこと。

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

6 次のそれぞれの文の……線部が修飾している部分を一つずつ選び、記号で答えなさい。

□(1) ア 私は初めてイ そのウ 新しいエ お店でオ 物をカ 買いました。

□(2) ア 山でイ おじいさんはイ ぐっすりと ウ ねむりこけました。

□(3) ア 妹はイ びっくりしてひとみを ウ 大きく エ 見開きました。

□(4) ア 山道をイ 登る イ 間に ウ だんだんと エ オ 寒く なった。

□(5) ア 春ののどかなイ 日には ウ のんびりと エ ひなたぼっこを オ したい。

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

7 次のそれぞれの文の……線部の述語に対する主語を一つずつ選び、記号で答えなさい。

□(1) ア ぼくのイ お母さんは ウ 以前は エ 学校の先生だった。

□(2) ア ぼくのイ いたずらを ウ 知って、 エ 父は オ いかりにふるえました。

□(3) ア 日がイ のぼると、 ウ ぼくらは エ 北に オ 向かって出発しました。

□(4) ア ぼくがイ 食べるのは ウ いつも エ 姉の オ つくったおべんとうでした。

□(5) ア 夏目漱石はイ ぼくが ウ いちばん エ 尊敬する小説家です。

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

8 次のそれぞれの文の……線部の修飾語は、どのことばを修飾していますか。そのことばをそれぞれ( )内の字数(句読点はふくみません)で書いて答えなさい。

□(1) そこには、もう古い家はせんせん見あたらなかった。(八字)

□(2) ぼくにこのむずかしい問題の解き方を教えてください。(七字)

□(3) なせ星を見ると落ち着いた気分になるんだろう。(六字)

□(4) さっさと食事をすませて、それから遊びに行こう。(四字)

(4)	(3)	(2)	(1)